

## 第 91 回大腸癌研究会 利益相反委員会議事要旨

日 時：令和元年 7 月 4 日（木）

14 時 00 分～15 時 00 分

場 所：浜松町コンベンションホール 6F 会議室 1

出席者：山口明夫（委員長）、赤木由人、掛地吉弘、五井孝憲、富田尚裕、川上祥子  
杉原健一理事長（オブザーバー）

欠席者：鶴田修、森正樹、児玉安司

### 1、前回の議事要旨の確認

### 2、平成 30 年提出の役員等の利益相反自己申告書の提出状況、利益相反状況

・令和元年 6 月 13 日 事務局にて、自己申告書を確認

（委員長 山口、事務局 奥野）

提出必要者数 67 名 提出者 61 名 未提出者 6 名

COI あり 33 名 COI なし 28 名

（令和元年 6 月 13 日現在）

### 3、第 90 回大腸癌研究会での発表時の利益相反の開示状況

- ・口演発表では全員に COI の開示あり
- ・示説発表で若干の演者に COI 開示が見られない演題があったが、前回からは改善された
- ・第 91 回の状況については研究会当日確認

### 4、ガイドライン発刊に際しての委員の COI の公表について

杉原理事長よりガイドライン作成に当たって、COI の公表について報道関係者より質問のあったことが報告され、今後の方針について本委員会で検討をした。

ガイドライン本文にはガイドライン委員、評価委員などの個人別の COI は記載せず、大腸癌研究会のホームページ上に、個人別に会社名、申告項目、金額区分などを公表することとした。来年改訂される遺伝性大腸癌診療ガイドラインから適応することとした。

アカデミック COI については他ガイドラインの動向も見て、今後の検討課題とすることとした。

5、研究会発表者の利益相反自己申告書について

当分本研究会では発表者のみの申告として、期間は1年間より3年間に延長することとした。

6、その他

利益相反自己申告書の金額区分および申告事項の項目は日本医学会のCOIガイドラインに添って変更した。詳細はホームページ上の自己申告書を参照。

## 第 90 回大腸癌研究会 利益相反委員会議事要旨

日 時：平成 31 年 1 月 24 日（木）

14 時 00 分～14 時 30 分

場 所： 京都テルサ 東館 3F D 会議室

出席者： 山口明夫（委員長）、富田尚裕、五井孝憲、掛地吉弘、川上祥子

欠席者： 赤木由人、鶴田修、森正樹、児玉安司

### 1、前回の議事要旨の確認

### 2、役員等の利益相反自己申告書の提出

平成 31 年 3 月末までに、平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日までの期間の利益相反自己申告書の提出を求める

### 3、大腸癌治療ガイドライン発刊に向けた作成委員の利益相反自己申告書

- ・ガイドライン委員会委員長の橋口先生より利益相反委員会が管理する平成 30 年度の提出いただいた利益相反自己申告書の利用の申し込みがあり、了承した。
- ・アカデミック COI に関して、今回の改訂の発刊には記載しないが、今後両委員会で連絡を取り、検討していく。

### 4、大腸癌研究会での発表時の利益相反の開示状況

第 89 回では口演発表はほぼ全員開示あり。

示説発表での開示は 9 割以上に見られ、前回より改善が見られた。

しかしまだ開示の見られない発表があったので、施設代表者会議で再度 COI 開示の徹底をお願いした。

第 90 回ではポスター発表で開示をしていない演者が数人に見受けられた。

### 5、その他

本委員会の開催回数、時間について意見交換を行った。原則大腸癌研究会時の年 2 回として、時間は約 30 分とすることを確認した。